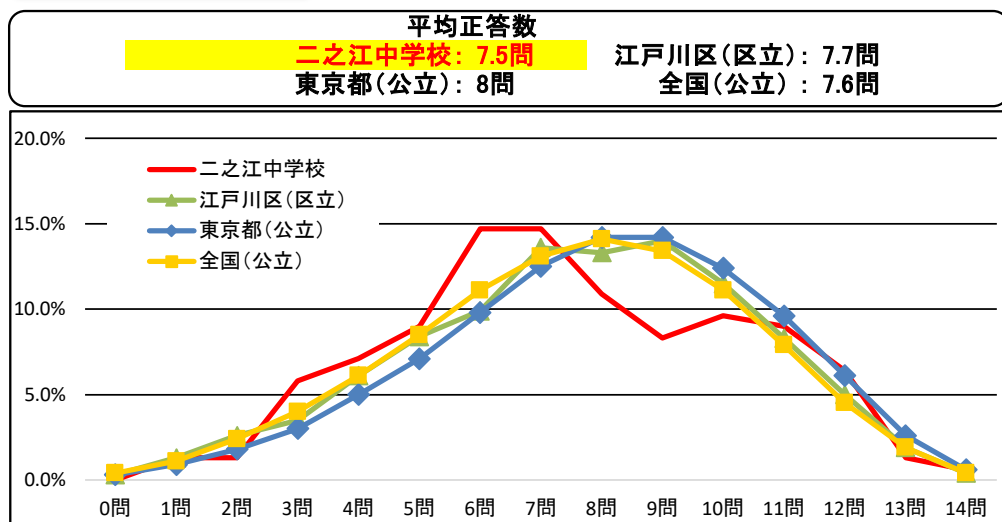


令和7年度全国学力・学習状況調査 結果分析表【国語】 二之江中学校

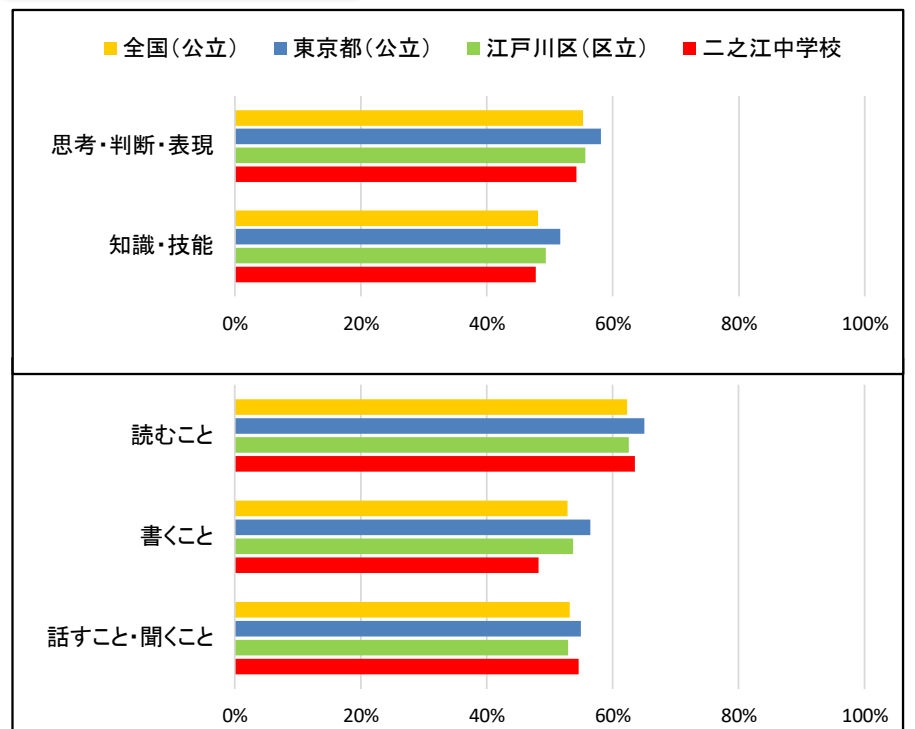
正 答 数 分 布



【平均正答率の差】

二之江中学校	53%
江戸川区(区立)	55%
東京都(公立)	57%
全国(公立)	54.3%
都との差(ポイント)	-4.0

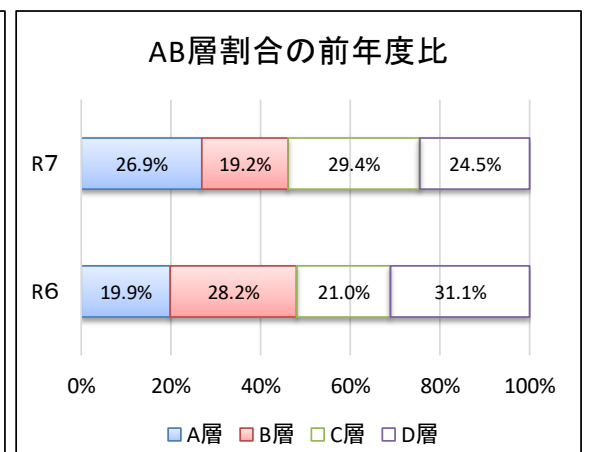
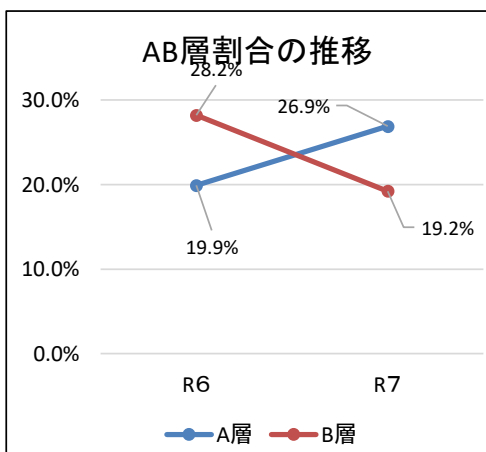
「領域別」の結果



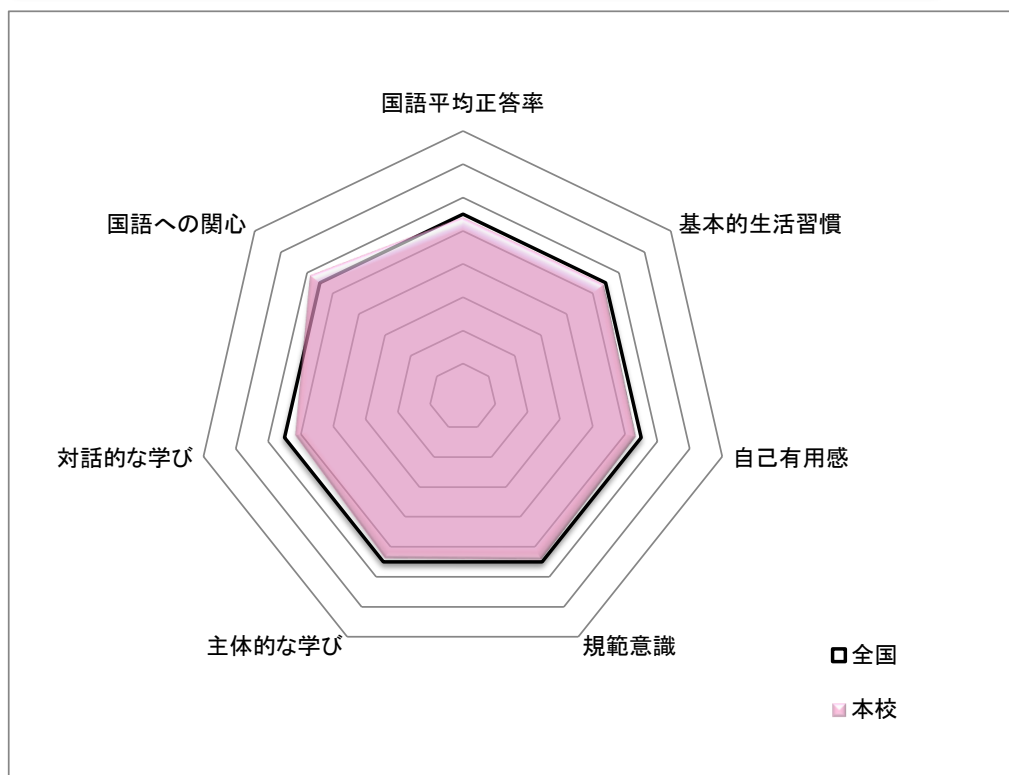
四 分 位 に お け る 割 合 (都 全 体 の 四 分 位 に よ る)

国 語	上 位 ← → 下 位			
	A 層 10～14問	B 層 8～9問	C 層 6～7問	D 層 0～5問
二之江中学校	26.9%	19.2%	29.4%	24.5%
江戸川区(区立)	27.1%	27.2%	23.5%	22.2%
東京都(公立)	31.2%	28.4%	22.3%	18.1%
全国(公立)	25.8%	27.5%	24.2%	22.5%

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。



各 領 域 に お け る 、 全 国 平 均 正 答 率 及 び 、 全 国 の 肯 定 的 回 答 合 計 値 を 基 準 と し た 場 合 の 、 本 校 の 様 子 。



《チャートの特徴》

学習を日常的に実施しているため、常に対話的な学びを実践していると言える。しかし、生徒自身には「対話的な学び」を行っている意識が無いことが考えられる。改めて、「四人組学習」の意義について周知を図り、目的意識をもって授業に参加できるように働きかけていきたい。

また、「国語への関心」は全国よりも高いポイントとなっていることがわかる。今後も、生徒の興味関心や国語学習の意義に寄り添いながら、授業を計画していきたい。

《家庭・地域への働きかけ》

知識・技能のよりいっそうの定着を図りたい。そのためにはまず、授業で取り組んだ内容や語句を家庭で復習する習慣をつけることが必要である。また、国語の力は日常生活の中で育まれていくため、読書をする機会や、ニュースを視聴する機会なども意識的に設けることも重要である。以上の点で協力をお願いしたい。

《現状把握》

●AB層の割合と取組内容について

AB層のポイントは、東京都のポイントと比べて13.5ポイント低くなっている。さらに、領域別に見ると「書くこと」の点で著しくポイントが低くなっていることがわかる。

以上より、今後は「書くこと」に関する学習に重点をおき、東京都との差を縮めることを目指す必要がある。

なお、「話すこと・聞くこと」については東京都と比べてほとんど下回っていないので、日頃の「四人組学習」を通して、他人の意見を受け入れ、また自分の考えを伝える経験を積み重ねることができていると考えられる。

《学校の取組》

・教員の指導力向上

授業研究や相互授業参観を定期的に行い、効果的な言語活動や説明の工夫を共有する機会を増やしていきたい。また、文法指導や語彙指導に関する専門的な視点を学び、基礎知識を系統的に教える力量を高めたい。

さらに、PDCAサイクルを徹底することで生徒のつまづきを分析し、指導の質を系統的に高めていきたい。

・基礎学力の保障

基礎学力を確実に保障するためには、生徒一人ひとりの学習状況を丁寧に把握し、必要な支援を早期に行う体制づくりを重視したい。

定期的な小テストや定期考査の振り返りを通して理解度を細かく分析を重ね、授業内でポイントの確認を取り入れていく。

また、基本的な語彙・文法・漢字の反復学習も計画的に実施し、学習習慣の定着も図りたい。

・学習習慣の確立

日々の学びを「続けやすくする取り組みづくり」を重視したい。例えば、取り組む内容や提出物の締め切り日を明確に示し、生徒が迷わず学習に着手できるようにする。その際、締め切りもなるべく短期で設定し、生徒にとって「今日何に取り組むべきか」が明確になるよう工夫したい。

また、小テストの結果など、こまめな努力を認め、励ますようにして生徒が「毎日少しずつ取り組む」ことに意義を見出せるようにしたい。

・AB層の育成

本校のABCD層を見ると、A層に達している生徒はいるものの、C層でとどまってしまう、50%を越えられていない生徒が多いことが分かる。授業での取り組みを見ている中では「自分なりに理由を考える」ことは達成できている生徒が多い一方で、「誰にでもわかるように自分の考えを説明する」ことが困難な生徒が多い。意見交流の時間などを設け、「分かりやすく伝え合う」力を伸ばすことで、CD層を成長させたい。